

学校だより

三川内中 心ひとつに

「全員が毎日楽しく登下校できる学校を目指します」

校訓「自主・誠実・健康」

NO.30

令和5年10月4日(水)

文責：校長 大田勝明

コツコツガカツコツ(コツコツが勝つコツ)

7月初旬から始まった駅伝練習を見て、改めて強く感じたことがあります。それは、やっぱり「**コツコツと粘り強く続けること**」が大事ということです。

ある生徒は、練習当初は集団の後ろの方からついていくのがやっとでした。しかし、その生徒は夏の暑さにも負けず、コツコツと努力を続けました。毎日休まずに本気になって練習に取り組んだ結果、少しずつ走る位置が前の方になり、そして、ついには登録選手(男子：9名、女子：8名)に名前が入るほどに成長しました。きっと本番(男子：6名、女子5名)は選手として走るのではないのでしょうか。素晴らしい成果であり、この生徒の頑張りを心から讃えたいと思います。もちろん、全員が頑張っているのですが・・・。

この行動は、学習や部活動、習い事などすべてのことに共通することであると考えます。まさに『**継続は力なり**』です。続けることは、とてもきつく根気がいります。それでも、粘り強く続けることで、人間は大きく成長すると考えます。

3年生は本格的な受験の体制に入っていると思います。受験勉強も然りです。毎日少しの時間でもいいので、努力を続けてください。この行動が15の春を笑顔で迎えることにつながります。

合言葉は、「コツコツガカツコツ」です。

10月11日の駅伝大会、皆さんの努力が報われ、笑顔で大会が終われるよう期待します。



褒めて、子どもを伸ばします！

現在、佐世保市内の小中学校で共通実践事項として取り組んでいることがあります。それは、授業の終末に『**生徒の活動を褒める**』ということです。これは、新しく佐世保市教育長に就任された陣内教育長からの1つのお願いから始まったものです。

褒める視点は、いろいろです。大人もそうですが、認め褒められることは大きな自信につながり、次の行動への原動力になることは間違いありません。本校では、授業の終末だけではなく、教育活動全体を通して子どもの活動を認め、賞賛の言葉をかけ、子どもの主体的な成長の後押しをしたいと思います。

保護者の皆様におかれましても、少しの成長でも褒めていただき、子どもたちに自信を持たせてほしいと思います。そうすることで、自己肯定感も高まり、次の頑張りにつながります。

本校の研究

本校では、ユニバーサルデザインの視点に基づいた、すべての生徒にとってわかりやすく、安心して参加できる「学び合い」の授業を実践することを目標にしています。共通実践事項を紹介します。

＜共通実践事項＞

- ① めあての提示(ゴールを意識させる)
- ② めあては同じ場所に提示
- ③ チョークの色は、白・黄色がメイン
- ④ ペア学習やグループ学習の実践
教え合い・比べる・深め、広げる
確かめ合い・協働解決
- ⑤ 学んだことを表現する
時間の確保
- ⑥ 生徒の活動について、**賞賛の言葉**

